

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

- [13476] サイトケラチン18フラグメント (CK-18F)

#### 受託開始日

- 2024年7月22日(月)



## サイトケラチン18フラグメント (CK-18F)

NAFLD (非アルコール性脂肪性肝疾患) は、アルコール非依存的な脂肪性の肝障害です。国内では、検診受診者の約3割を占めており、年々患者数が増加しています。NAFLDの症状が進行した状態であるNASH (非アルコール性脂肪肝炎) では、肝臓の線維化が進む速度が速く、肝細胞がんに進展する予後不良の疾患です。

サイトケラチン18 (CK-18) は分子量45 kDaのタンパク質で肝細胞を含む上皮系細胞に多く発現します。肝細胞が傷害を受け、アポトーシスが誘導されるとCK-18が酵素により切断され、フラグメント (CK-18F) が生じます。

このCK-18Fは病態がほとんど進行しないNAFL (非アルコール性脂肪肝) と比べ、NASHで有意に高値となること、NASHに特徴的な風船様変性の進行に伴い高値となることが報告されています。また、肝線維化の指標であるFIB-4 indexと併せて検査を行うことで効率的にNASHを検出することが可能とされています。

このように、本項目はNASHの鑑別診断に必要な肝生検を実施すべき患者を選別するための有用な検査となります。

### 検査要項

項目コード	13476
検査項目名	サイトケラチン18フラグメント (CK-18F)
検体量	血清 0.4mL [容器番号: 01番→02番]
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準値	260 U/L 未満
報告上限	2,000 U/L 以上
報告下限	125 U/L 未満
所要日数	3~9日
検査実施料	194点 <sup>*1, 2</sup> (「D007」血液化学検査「50」サイトケラチン18フラグメント (CK-18F))
判断料	144点 (生化学的検査 (I) 判断料)
備考	*1: 本検査は非アルコール性脂肪性肝疾患の患者 (疑われる患者を含む。) に対して、非アルコール性脂肪性肝炎の診断補助を目的に実施した場合に算定できます。 *2: 本検査とプロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド (P-Ⅲ-P)、Ⅳ型コラーゲン、Ⅳ型コラーゲン・7S、ヒアルロン酸、Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体またはオートタキシンを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できます。

### 参考文献

Tada T. et al. : Eur J Gastroenterol Hepatol **33**, 1451-1458, 2021.